ESD!
遺産としての知識を活かした行動学習
―健康的なライフスタイルによる
充実した食の安全の実現に向けて―

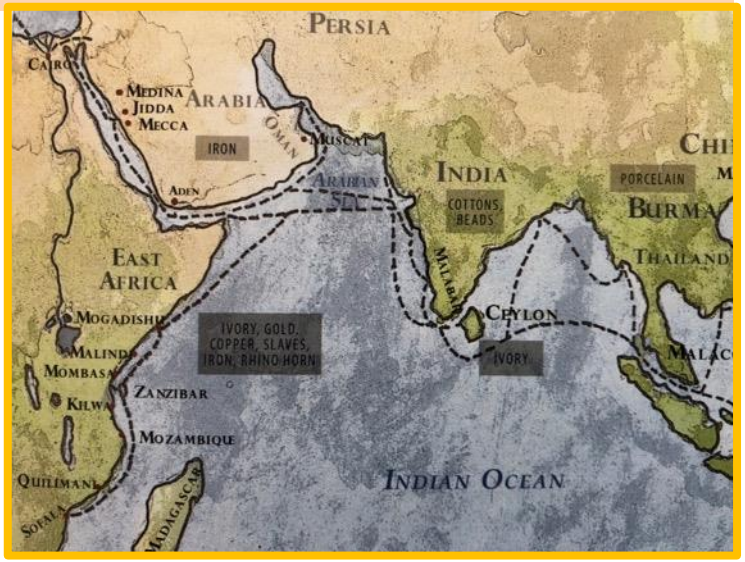
Rob O'Donoghue

environmental
LEARNING RESEARCH CENTRE

概説：学校の教科指導におけるESD アクションラーニングの道筋

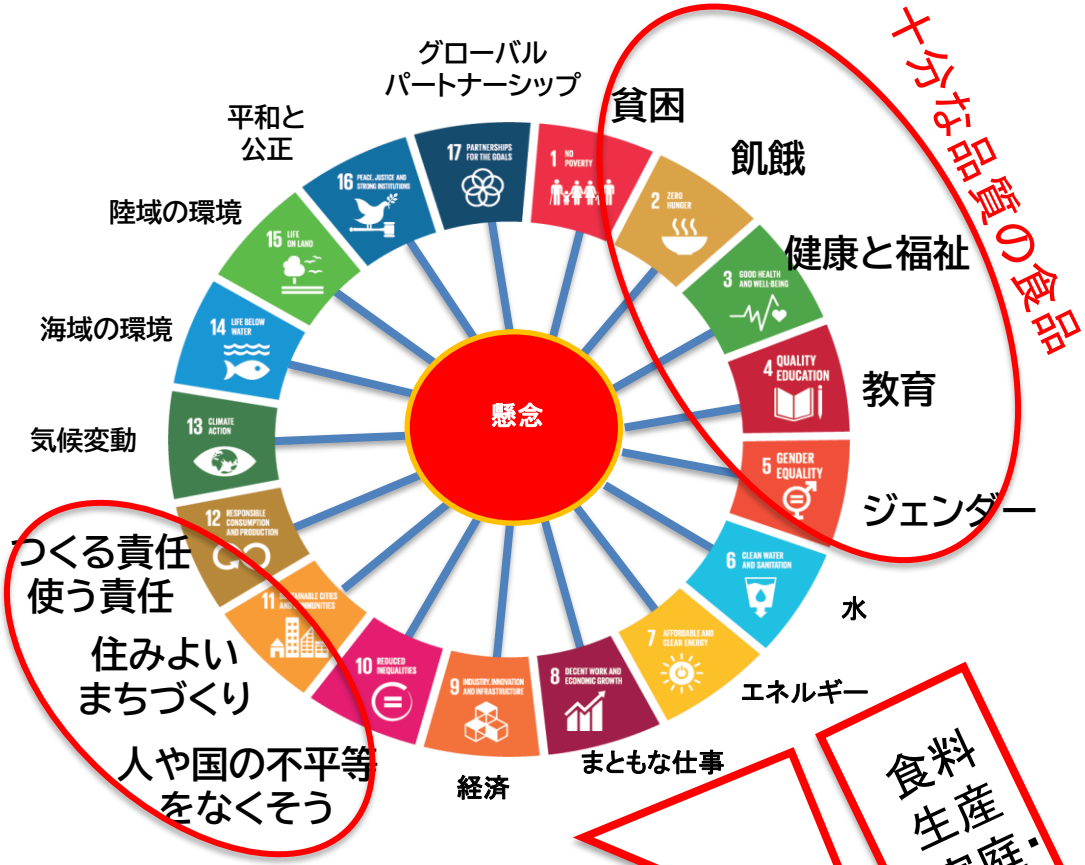
状況に応じた学習の基礎としての**文化史と遺産**（3）	歴史や遺産はどのように学習の基礎となるのか？
SDGsを活用して、複雑なリスクのパターンを明らかにする（4）	SDGsはどのようにして複雑な問題を把握することを可能にするのでしょうか？
アクションラーニング（行動学習）を含む教科学習の教育方法を拡大する（5&6）	従来の教科指導をESDのためにどのように展開できるか？
遺産主導の3つのアクションラーニングの模範例。（7-9）	遺産は食料安全保障と健康の革新にどのように役立つのか？
学習と能力の包括的（インクルーシブ）な評価（10-12）	どのように評価すればよいのでしょうか？ 学習と能力？

過去：東アフリカと南アフリカの初期農業の忘れられた世界



ABOVE: Southern Sotho production. A drawing used by the Berlin Missionary Society to illustrate skill, crafts and technology of the Pedi and their neighbours in the 1860s. To the left is a forge with a man working bellows. (*Berliner Missionsberichte herausgegeben von der Berliner Missionsgesellschaft*, 1861)

今:植民地時代の近代化における持続可能性と健康への関心



- 早期発症の糖尿病
- 肥満と心臓病
- 貧血（鉄欠乏症）
- カンジダ（腸内細菌）
- 食料へのアクセス（飢餓）

健康懸念

食料生産（家庭・地元）

食の安全のリスク

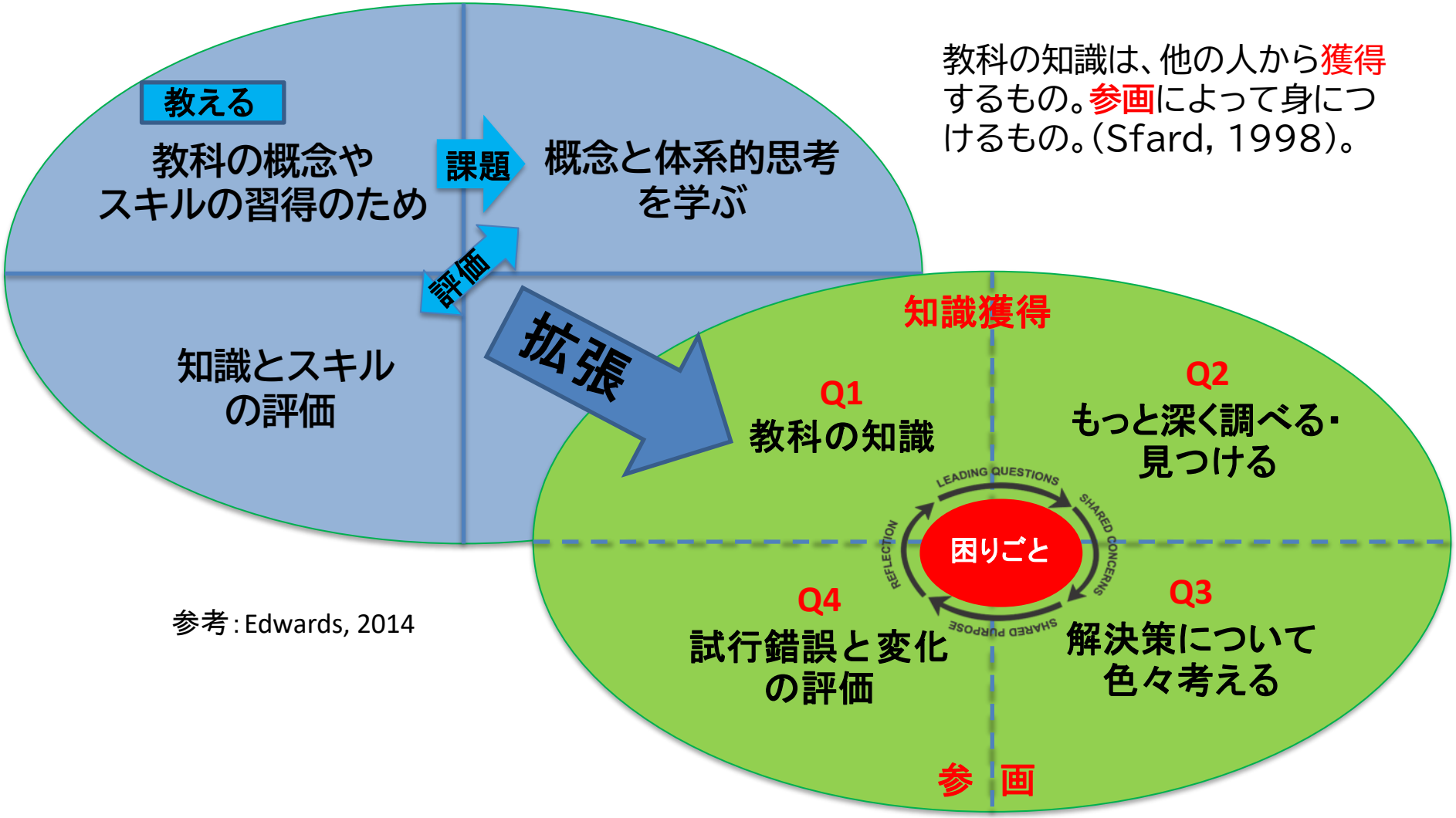
発酵穀物食品

ヨーグルト

葉物野菜

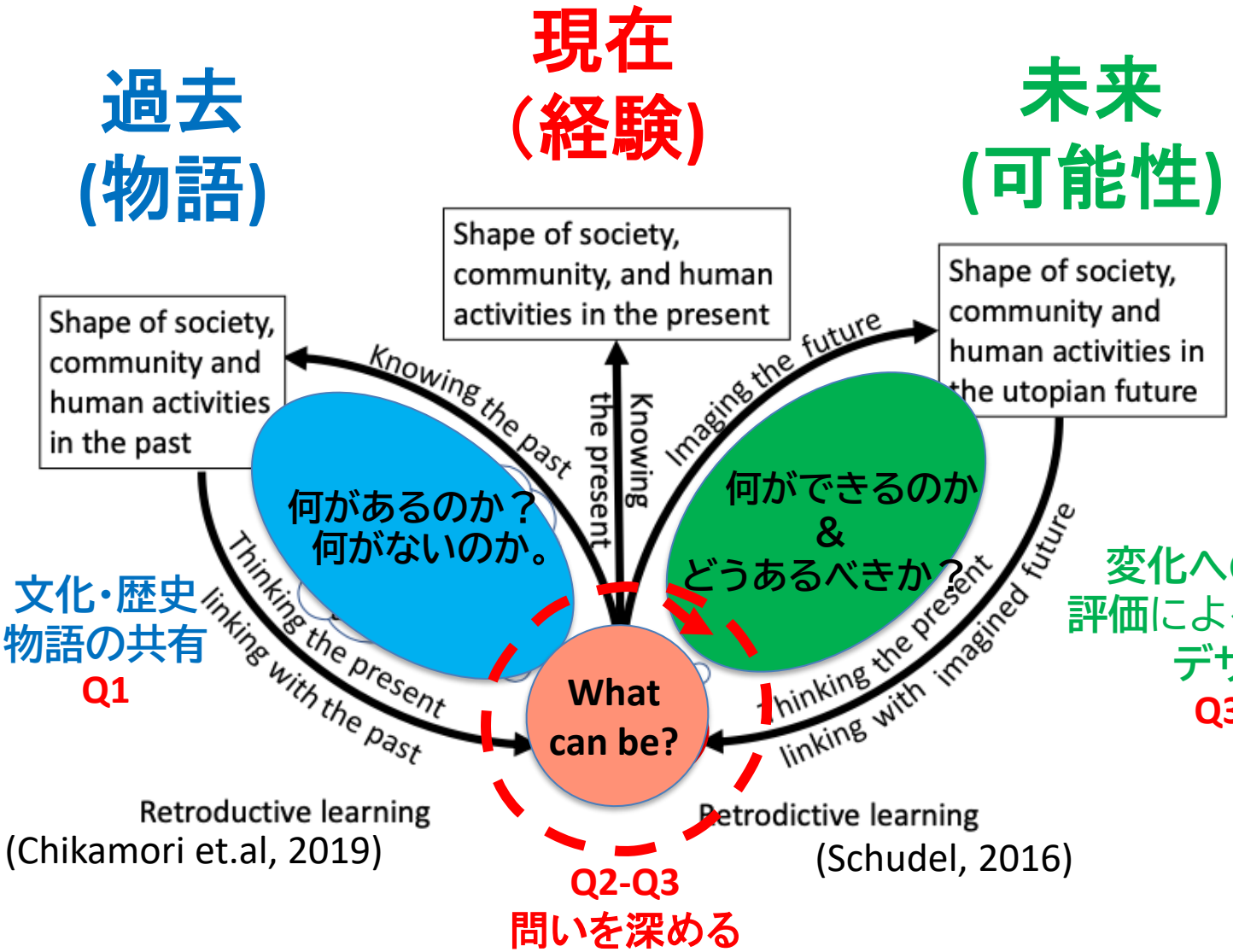
FUTURE：従来の教科教育の指導法をアクションラーニングで拡張する

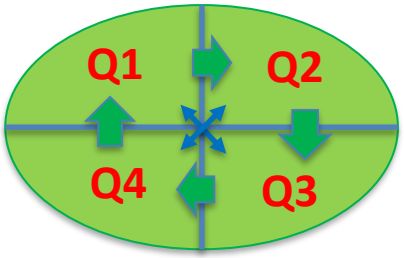
教科の知識は、他の人から獲得するもの。参画によって身につけるもの。(Sfard, 1998)。



参考：Edwards, 2014

持続可能な未来を再考するために、過去と現在を横断する批判的リアリスト学習





穀物発酵食品(*maRewu*)

1 導入

昔はどうだったの？

2

今はどうですか？

3

これは現代の私たちにとってどのような意味を持つのでしょうか。

4

どのようにすればいいのでしょうか？ 共により持続可能な社会を目指して

両方

または
自家製？

私たちの記憶で過去に触れ、想像力の翼で未来を感じる *(Mhlope, 2021)*

発酵乳（アマシー）

1 導入

昔はどうだったの？

2

今はどうですか？

LEADING QUESTIONS

SHARED CONCERNS

SHARED PURPOSE

REFLECTIO

ヘルシー
消化器
腸内細菌叢

3

これは現代の私たちにとってどのような意味を持つのでしょうか。

4

どのようにすればいいのでしょうか？ 共により持続可能な社会を目指して

買ったもの

家で作る？
または
両方

私たちの記憶で過去に触れ、想像力の翼で未来を感じる (Mhlope, 2021)

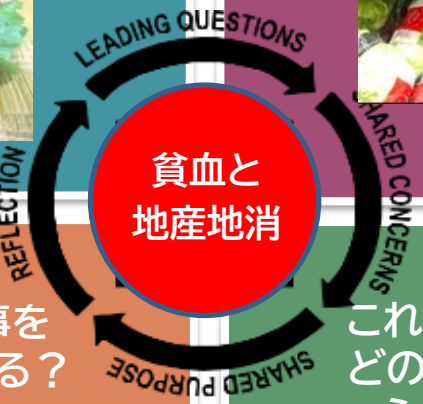
緑葉野菜（イミフィーノ）

1 導入

昔はどうだったの？

2

今はどうですか？



3

これは現代の私たちにとってどのような意味を持つのでしょうか。

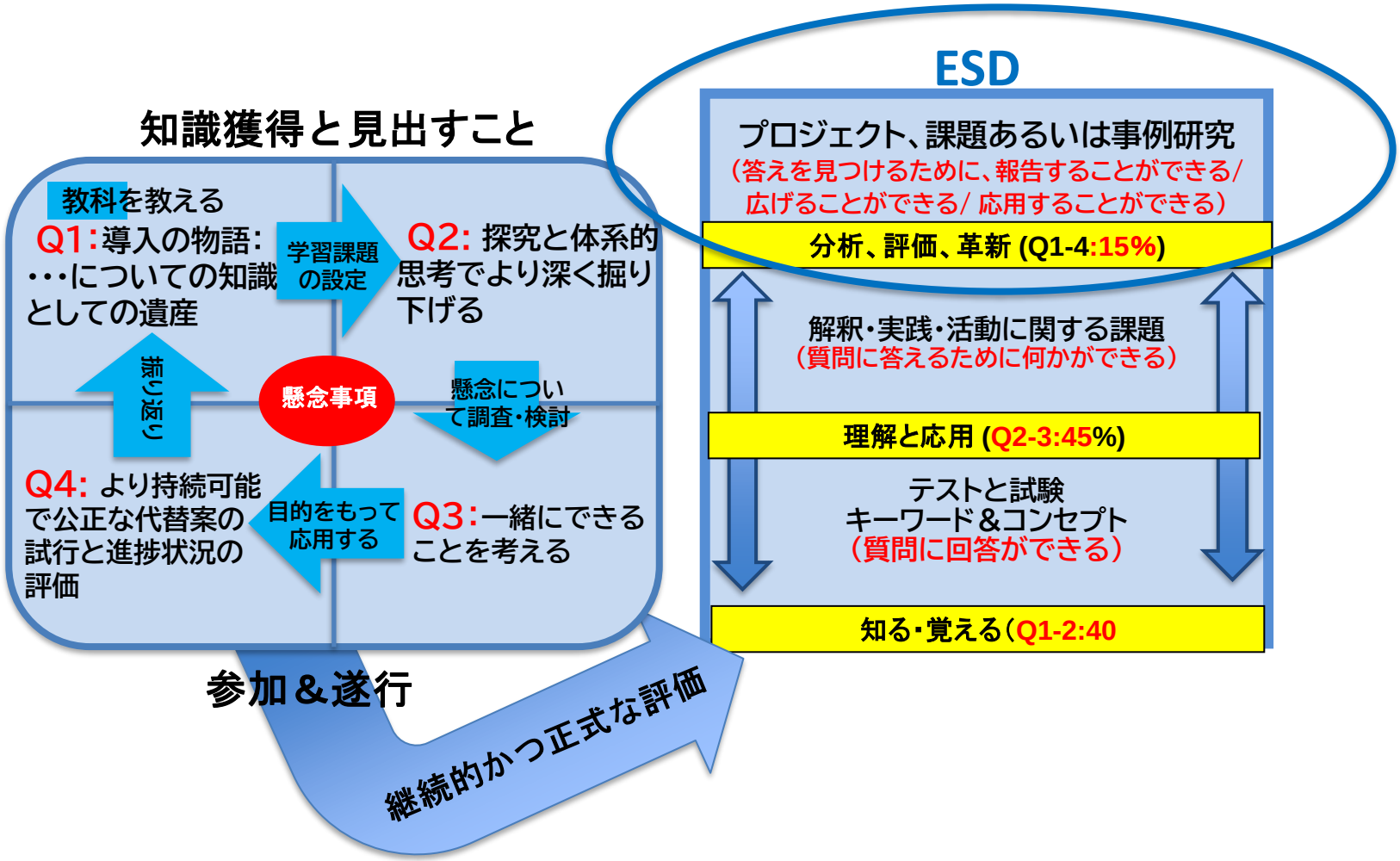
4

どのようにしたら、共に物事をより持続可能なものにできる？

野山で摘む？
店で買う？
家庭で栽培
それとも上記のすべて？

私たちの記憶で過去に触れ、想像力の翼で未来を感じる (Mhlope, 2021)

従来の評価方法では、TMESDの学習をどのように評価すればよいのか



教科指導におけるESDの能力評価にどう取り組むか

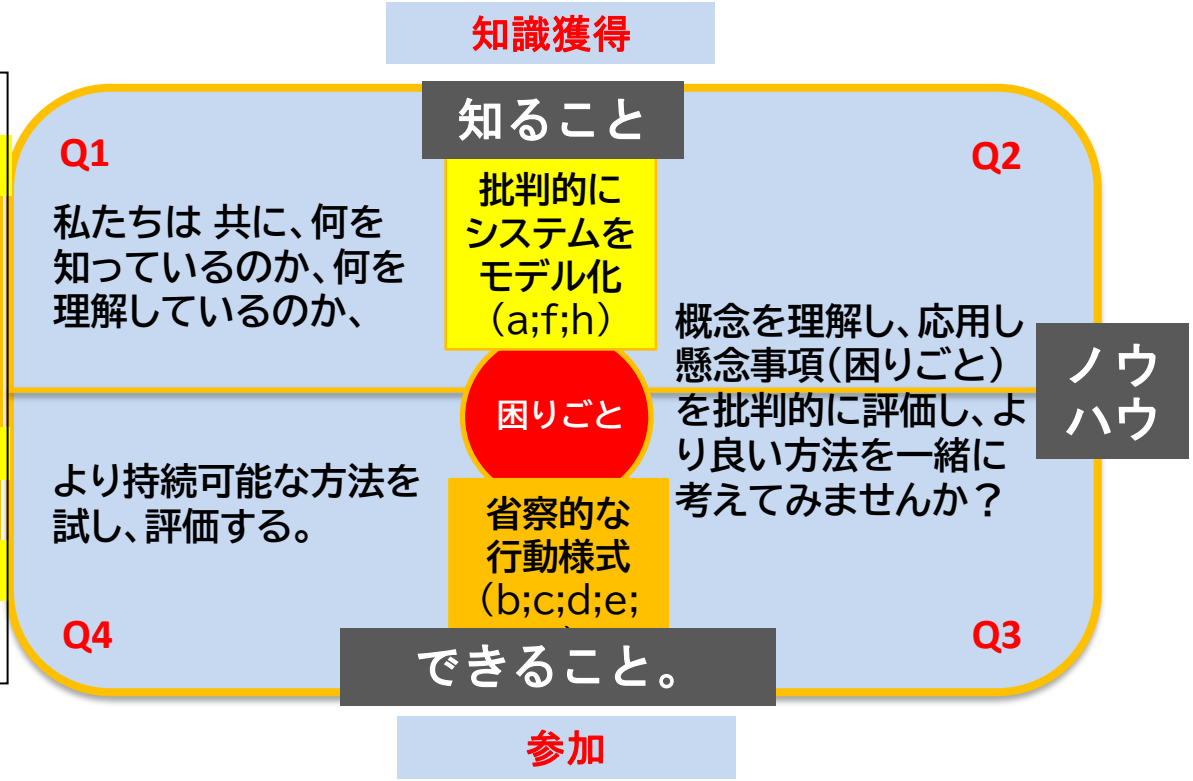
文化的・個人的な能力は、遺産としての知識や人生経験に伴って、以下を可能にする知識、気質、美的なものとして発達します。

- **物事を**文脈や関心事と関連づけて**知ることができる**（Q1）
- 悩みを解決する**ノウハウ**の開発と（Q2・Q3）
- より持続可能に共に生きる方法を開発する**ことができる**（Q2-4）

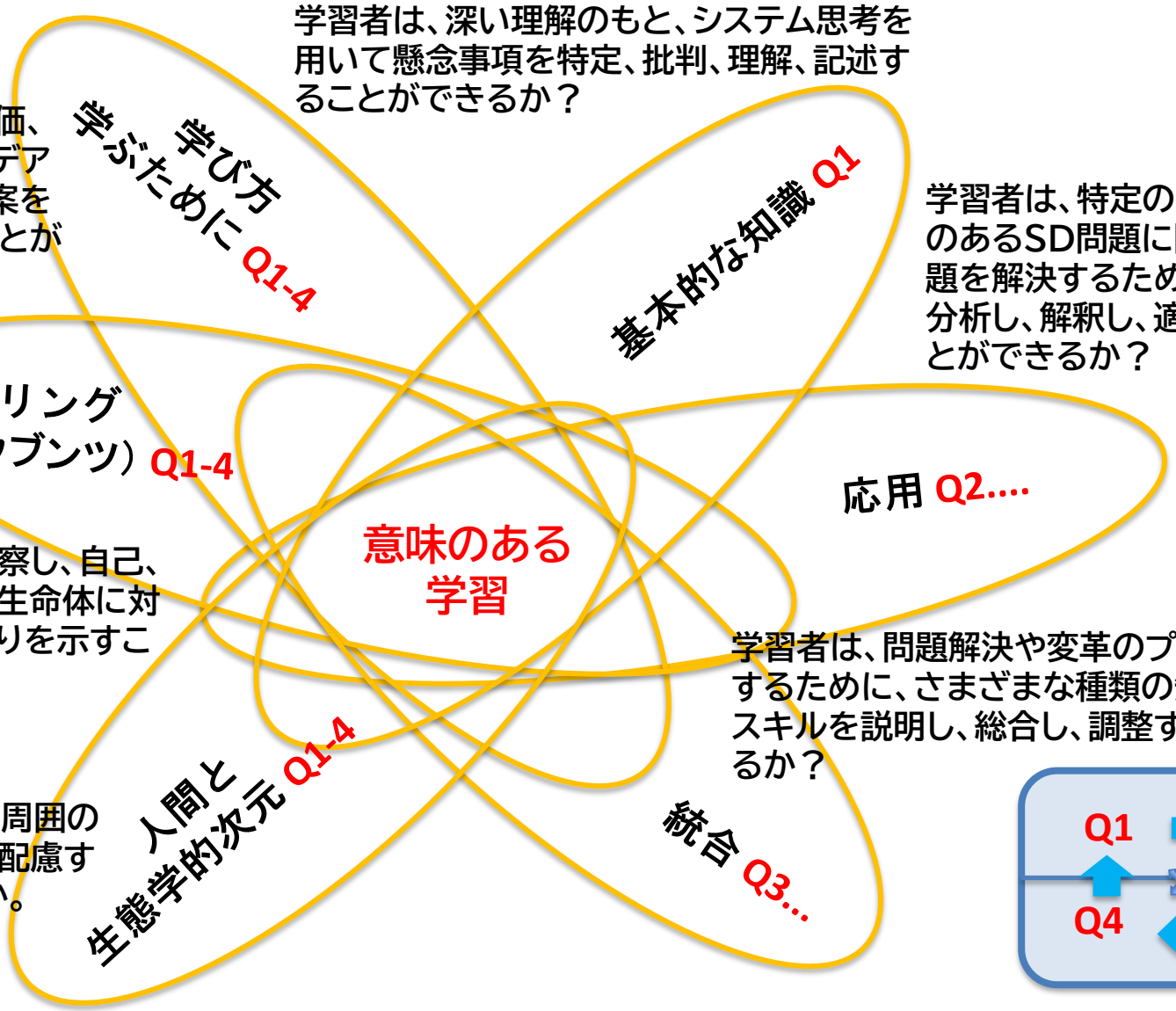
ESDコンピテンシー

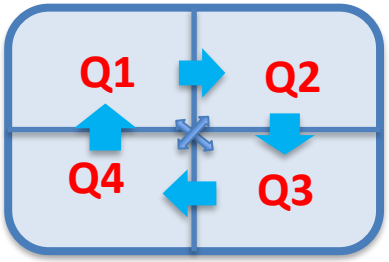
a) システム思考
b) 予測
c) 規範的
d) 戦略的
e) 協働
f) 批判的思考
g) 自己認識
h) 問題解決

(UNESCO, 2017 - p.10)。



重要な学習行動を共に評価する





References:

Arend, B. (2013) *Beyond Bloom: Expanding our Ideas about Learning Objectives.* Brigham Young University. https://ctl.byu.edu/tip/beyond-bloom-expanding-our-ideas-about-learning-objectives

Fink, L.D. (2003) Creating Significant Learning Experiences: An Integrated Approach to Designing College Courses, San Francisco: Jossey-Bass.

Chikamori, K., Tanimura, C. & Ueno, M. (2019). Transformational model of education for sustainable development (TMESD) as a learning process of socialization. *Journal of Critical Realism, 18*(4), 420–436. https://doi.org/10.1080/147674 30.2019.1667090

Edwards, A. (2014) Designing Tasks which Engage Learners with Knowledge, in I. Thompson (Ed) *Task Design, Subject Pedagogy and Student Engagement*. London: Routledge

O'Donoghue, R. and Sandoval Rivera,(2020) Hand-Print CARE: Clarifying the inclusion of intergenerational knowledge in school curriculum settings as plural knowledge environments.

O'Donoghue, R.B., Kibuka-Sebitosi, E., Tshiningayamwe, S. and Palmer, C. (2019). Navigating non-sense by exemplifying situated life experience and intergenerational heritage knowledge in Education for Sustainable Development learning spaces. Southern African Journal of Environmental Education | Vol.35 (2019) ISSN 2411-5959 | DOI 10.4314/sajee.v35i1.8

O'Donoghue, R.B. Taylor, R.J. and Venter, V. (2018) How are Learning and Training Environments Transforming with ESD? In Education on the Move. Paris, UNESCO.

Schudel, I. (2017). Modelling Dialectical Processes in Environmental Learning: An Elaboration of Roy Bhaskar's Ontoaxiological Chain. Journal of Critical Realism, 16 (2) 163-183

Shumba, O., Mandikonza, C., Lotz-Sisitka, H.B. (2020). Advancing assessment thinking in ESD with a focus on significant learning in ESD processes. Chapter XXX. In Schudel, I., Songqwaru, Z., Tshinganyamwe, S., Lotz-Sisitka (Eds).